

令和6年度第2回鳥取県協働連携会議の概要について

- ・ 日 時 令和7年3月26日（水）午前9時30分～10時30分
- ・ 場 所 議会棟第15会議室 ※WEB会議
- ・ 出席者 委員11名中7名出席
行財政改革推進課（事務局）、他関係課

【会議の概要】

I 民間提案事業サポートデスクに関すること

民間提案事業サポートデスクにおいて、令和3年10月から令和7年2月末までに対応した提案・相談案件（112件）のうち、提案者と担当課で検討・実施し、対応方針案や対応結果が出た案件（提案実現・一部実現10件）について検証を行った。

1 提案実現・一部実現の案件（10件）

（1）外国人雇用支援に向けた提案…鳥取県×（株）YOLOJAPAN

【提案内容】

国内在住の外国人向け求人情報等を発信している自社のノウハウを活用して、外国人労働者の拡大に向けて連携していきたい。

【対応方針案・対応結果】

担当課である雇用・働き方政策課と提案者による打ち合わせを実施し、連携の可能性について検討した結果、令和6年度外国人材受入れ支援セミナーにおいて、提案者に講師を担っていただいた。

（セミナーの概要）

- ・ セミナー名：外国人材の雇用実際どうする？～事例で学ぶ、外国人を雇用する際の受入れのコツ～
- ・ 日時：令和6年12月19日（木）午後2時～3時（オンライン）
- ・ 概要：人材不足が深刻化する中で、外国人材を採用し安定的に活躍いただくためのポイントについて、事例を交えながら説明。（外国人と日本人の採用の違い・外国人材採用のメリット、外国人材の採用を成功させるコツ 等）

【委員からの主な意見】

・ とても役立つセミナーだと感じた。受講者の反響はどうか。また、今後このようなセミナーのニーズは増えてくると思うが継続的に実施する予定か。

⇒セミナー受講者へのアンケートによると、外国人材受入の心構えができたとか、なぜ外国人材を受け入れていく必要があるのか等、考え方がクリアになったという意見をいただき好評だった。

まだ外国人材受入れに対し、足踏みしているような企業や、受入れてみたが、実際の交流の仕方や仕事上のコミュニケーションについて悩んでいる企業も多い印象を受けているので、今後も引き続き業種別セミナーやコミュニケーション講座を実施する等、継続的に取り組んでいきたい。

（2）美と健康の知見を活かした包括連携協定の締結…鳥取県×（株）ポーラ

【提案内容】

「美容」を通じたより良い地域社会の構築に向け、鳥取県と包括連携協定を締結したい。

【対応方針案・検討結果】

提案を受けて、協定締結の可能性を含めた検討を開始。提案者と県庁関係課との個別協議を進めた結果、「出会い及び結婚支援」や「県民が健康にいきいきと活躍する機会の創出」等の分野で連携を進めていくこととし、令和7年3月18日に包括連携協定を締結した。（協定項目は全7項目）

（今後の主な連携予定）

- ・ えんトリリー（とっとり出会いサポートセンター）と連携した婚活イベントの開催
- ・ 視覚障がい者向け「鏡を使わないメイクセミナー」などのレッスンの開催

【委員からの主な意見】

・ ポーラと様々な連携を行っており面白いと感じている。

⇒化粧品会社との連携という新たな取組として、婚活支援や視覚障がい者の方へのメイクレッスン等の方面で連携を深めることとしており、提案者の熱意を感じながら協議を進めてきたところ。よ

いつながりを構築できており引き続き継続的に様々な連携に取り組んでいきたいと考えている。

（３）鳥取県内で開催される地域活性化イベントの県外への周知における連携

…鳥取県×カシオ計算機（株）

【提案内容】

自社のデジタルスタンプラリー「MEGEREWAY」を活用して鳥取県内で実施するイベントを全国に周知するにあたって、鳥取県と連携したい。

【対応方針案・検討結果】

東京本部や関西本部と連携し、イベントの開催にあたって、チラシやメルマガ等の媒体を活用した周知に協力した。

（イベント及び周知方法）

①「若桜町よくばりロマン紀行」デジタル旅ガイドスタンプラリー

- ・主催：若桜町観光協会
- ・開催期間：令和6年10月19日～令和7年3月31日
- ・周知方法：県外本部を活用したチラシ配架・ポスター設置、メルマガ配信、鳥取県公式 SNS を活用した周知協力

②鳥取砂丘コナン空港デジタル謎解きウォークラリー〈さかさまつインズと潮風の秘宝〉

- ・主催：鳥取空港ビル株式会社
- ・開催期間：令和6年11月16日～令和7年3月31日
- ・周知方法：県外本部を活用したメルマガ配信、ポスター設置・謎解きに使う冊子の配架

【委員からの主な意見】

・イベントも目的は県外からの誘客だと思うが、アプリ登録者の属性は把握しているのか。県内観光客の周遊に留まらず、県外から観光客を呼び込めるようなアプリであってほしい。

⇒アプリのデータ管理は、アプリ作成者であるカシオ計算機（株）が行っており、現時点では公開の可否について申し上げることができないが、ご指摘の通りだと思うので、カシオ計算機としても県外誘客の増加という目的を認識したうえでの実施だと考えている。

（４）企業の資源・ノウハウ等を活用した連携…鳥取県×（株）エースパック、廣川（株）

【提案内容】

令和6年4月から開始したエースパック未来中心等のネーミングライツを契機として、県を含めた関係機関と鳥取県を盛り上げる連携を実施していきたい。

【対応方針案・対応結果】

- ・（株）エースパックの関連会社である廣川（株）と（株）キサ・クリエイティブとの連携により、令和6年10月に米子鬼太郎空港羽田線就航60周年記念デザインエコバックを製作。米子空港から羽田便に搭乗いただいたお客様に無料で配布。
- ・県立美術館開館を契機に、お土産販売に向けた連携も実施しており、引き続き県立施設や関連企業との連携を図る。

【委員からの主な意見】

特になし

（５）効率的な利用が可能な物品調達サービスの提案…鳥取県×（株）加藤紙店、プラス（株）

【提案内容】

地方公共団体向け物品調達サービスであるスマートガバメント（※）について、庁内に周知し、活用を検討していただきたい。

（※）専用 WEB ページから発注、地元販売店を窓口で購入できる地方公共団体向けの物品調達サービス

【対応方針案・対応結果】

提案を受け、担当課から庁内掲示板 DB で全庁に向けてサービスを案内。従来の紙のカタログと比較して、専用 WEB ページ上で商品選択、見積依頼が可能であること、地方公共団体向けの商品を厳選している等便利な点が多く、複数所属で利用申込みを行った。

【委員からの主な意見】

・とても便利なシステムだと思うが、県庁内でも活用しているのか。評判はどうか。
⇒県庁内の複数の所属でシステムを利用している。まだ使い始めて間もないので実績、感想は届いていないが、来年度も複数の所属で導入していく予定と聞いている、導入が広がっていけばよいと感じている。

（６）鳥取マラソン 2025 における連携…鳥取県×鳥取マラソン実行委員会

＜提案内容＞

令和 7 年 3 月 16 日開催の「鳥取マラソン 2025」の開催にあたり、県と包括連携協定を締結している大塚製薬（株）と連携したい。

＜対応方針案・対応結果＞

大塚製薬と連携について協議し、大塚製薬からは県との包括連携協定に基づき、協力したい旨回答があったため、「鳥取マラソン 2025」へ協賛いただき、ランナーへの給水ドリンクに大塚製薬の商品を使用するとともに、その一部を大塚製薬より無償提供いただいた。

＜委員からの主な意見＞

特になし

（７）地域住民の健康増進対策等への貢献…鳥取県×明治安田生命保険相互会社

＜提案内容＞

提案者が実施している「地元の元気プロジェクト」に基づき、本県の「健康増進（ねんりんピック協賛）」「子育て支援」「介護・認知症対策」に対して、「私の地元応援募金（※）」による寄付の申し出があった。
（※）明治安田生命の営業拠点の所在地や連携協定を締結している自治体等に対し、グループの全従業員が出身地などのゆかりのある地域を指定して行う任意の募金に、会社拠出を上乘せして寄付を実施。

＜対応方針案・対応結果＞

- ・寄付金総額 1,343,700 円
- ・寄付対象事業
 - ① ねんりんピックはばたけ鳥取 2024 開催事業（健康増進）
 - ② 鳥取県自然保育促進事業（子育て支援）
 - ③ 認知症サポートプロジェクト事業（介護・認知症対策）

＜委員からの主な意見＞

特になし

（８）県有未利用財産の有効活用…鳥取県×県内営利法人

＜提案内容＞

県課題提示型として募集している「県有未利用財産の利活用の促進」として、県内営利法人から県が所有する土地を仮設現場事務所や仮資材置場等として利用申請があった。

＜対応方針案・対応結果＞

・事業者から利活用希望があった土地について、県が今後売却を予定とする未利用地等であったため、利用希望期間において賃貸借契約を締結（貸付案件）

（元）境水産高等学校 1,030 m²（現場事務所及び関係者駐車場）

（元）境港通勤寮 2,640.71 m²（仮設現場事務所及び仮資材置場）

＜委員からの主な意見＞

未利用財産は放置すると劣化が早まり維持管理代も増加するので、可能な限り使っていただいた方が財産収入だけでなく修繕コストも下がる。県民は未利用財産の場所や状況を知らないと思うので、発信が重要だと感じた。

⇒未利用財産については、一部売却を進めたり、メルマガでの周知、県課題提示型として各都道府県のプラットフォームにも掲載する等頑張っているが、引き続き周知に力を入れていきたい。

（９）県政情報に係るチラシ配布への協力…鳥取県×住友生命保険相互会社

＜提案内容＞

鳥取県との包括連携協定に基づき、県政情報に係るチラシについて、県民の方への配布に協力したい。

＜対応方針案・対応結果＞

- ・県庁内で配布希望のチラシを募集し、提案者と調整した結果、「キャンブル依存症」や「鳥取和牛チャレンジ第2弾」チラシを保険外交員の皆様等を通じて県民に配布。今後も提案者と継続的に連携を進め、県からの要請に応じてチラシの配布に協力いただく予定。

＜委員からの主な意見＞

特になし

2 取下げ・その他の案件について

事務局から取下げ・その他の案件（6件）について、説明を行った後、質疑応答を実施した。

【委員からの主な意見】

○空間プラットフォームを活用した文化財・施設のデジタル保存、バーチャル体験に関する提案

他地域での導入実績が少なく効果測定が難しいという理由での連携不可では、全国に先駆けて事業展開していくことが難しくなるという点で少し残念。ぜひ踏み込んで鳥取県としてチャレンジしていく意識を持っていただきたい。

⇒先進事例に対する意識や取組についてはご意見いただいたとおりで、鳥取県としてやるべきことは取り組んでいこうという意識を持って日々取り組んでいるところ。その上で今回の提案は観光施設や文化財施設に対して導入していく具体的イメージが協議を重ねても持つことができず、予算措置が難しかったところ。効果判定可能となった時点でまたお声掛けいただきたい旨提案者に伝えており、引き続き継続的に連携を取りながら進めていきたい。

II その他

情報発信について

＜委員からの主な意見・感想＞

県内企業だけでなく、東京、大阪の大手企業に向けてのPRはとても重要と感じる。

⇒ご指摘の通り。県外企業については県外本部のメルマガやチラシ配布等を実施しているところ。サポートデスクに提案される企業は、やはり大手企業やベンチャー企業が多い傾向にあるので、県外に向けて積極的に発信することが重要だと認識している。